表浜むかし話

「出水はどこだ」

山田もと著

「あれっ、ない、ないよ。」

久しぶりに生まれた故郷へ帰ったおばあちゃんは、青田の中を流れる川の橋に立って、川の石垣をよくよく見まわしている。夏休みの宿題ノートを持ったひろ子とまきも、川をのぞきこんだが、おばあちゃんの話した、きれいな水のわきでる所は見つからない。

「おばあちゃん、場所まちがえたと思う。」「いや、たしかにここだ。この志田橋のすぐ上だったもの。」

おばあちゃんは、川堤防の草をかき分けて、石垣までおりていったが、出水のしていた黒い木はない。その出水までおりていく石段もない。

「うーん、どうなっちゃったずらか。」おばあちゃんは草むらに坐りこんだ。「わしが子どものころは、この田面で夏休みじゅう田の草をとったもんだ。

暑くて暑くてのう。帰りにここの出水をのむのが楽しみだった。そや冷たくて、うまい水だったのう。」

「外のとこにもうないの。」

「そう、ふしぎとここだけだったよ。耕地整理で、まがりくねって草や木のかぶさった川を、深く掘って、広いまっすぐな川に作りなおしただ。その時たくさんの黒い大木がでたんだと。石炭になるまえのまっ黒い楠だったげえな。その中にまん中が穴になっとるのが一本あって、その穴から水がこんこんとわきでとったんだと。その木は堤防に埋まっとって、どうにもとれなんだで、ちょこんと川へつきでたままで石垣でかこってしまったんだと。

『こやええ水のみ場ができた。』てって、皆大よろこび。仕事の合間でもべんとうの後でも、うまいうまいってのんだもんだった。そこへおりていく石段まで作っておくれただよ。」

「コップなくて、どうしてのんだの。」

「顔を出水にくっつけて、こっくん、こっくんのむんだよ。この黒い楠から流れでる水は、ふしぎな大昔のことを知っとるようで、いつまでも息をとめては、水に顔をくっつけて、大昔の音をききながらのんだもんだよ。」

「どうしてなくなってしまったの。」

「さあ、どうしてずらか。地下水の道がかわって干あがってしまったずらか。堤防がこわれたのを直す工事の時、くだいてしまったずらか・・・・・。あんたたち、それをしらべて宿題にしたら。」

「うーん、だってどうしてしらべるの。」

「工事をやった人にきくとか、出水を最後にのんだ人をさがすとか・・・・・。」

「ひゃっ大へん。出水よ、どこいったあ。」

【著者紹介】
◎1920年　神戸村大草志田生まれ
◎1939年～47年　野田尋常小学校へ勤務
◎1957年　名古屋童話作家協会入会
◎1992年　田原町町政功労者表彰
◎2004年　逝去

山田さんは、田原中部小学校のPTA機関誌「家庭と学校」へ1964年から41年間にわたって156もの作品を寄せ、田原に伝わる民話や伝説、田原に縁のある人物の伝記はもちろん、地域の子どもたちの暮らしぶりを伝え、多くの皆さんに心豊かな安らぎを与えてくださいました。

「表浜むかし話」では、山田さんのご逝去後も、その作品を紹介させていただいております。

表浜風土記 Interview

「遠き日の思いで」

大草町
寺田 幸弘さん

「ほーい」「ほーい」とも「えーいや」「えーいや」とも海から聞こえる声、そう、これは、昭和30年代のこと、私が小学生の頃、海からよく聞こえてきた大人たちが網を引く掛け声であります。その頃の大草地区は、半農半漁で生計を立てている家庭が多く、多くの区民が地引網や、船で魚を取り販売していました。

私たち子供はその掛け声が聞こえると、「大漁」だと海へと草取り籠を持って走り出すのでした。途中、方辺を駆け下りるとそこには、魚の加工場があり、ちりめんなどが所狭しとばかりに干してあるので、それを口いっぱいに頬張りながら、地引網へと向かいました。加工場から、50メートルも走ると、目の前には真っ白な広い砂浜、大きな青い海が広がり、真夏には、波打ち際までたどり着くには、子供では足の裏が焼け付くほど熱く、一気にはいけない程の広い砂浜で、何度も休憩をしながらやっと着いた思いがします。当時の地引網は、牛が引いておりゆっくりと巻き上げ、粗い網から始まり最期は袋と呼ばれる構造になっている地引網を引くのがとっても面白かったです。荒い網にかかった魚を私たちは取って持ってきた草取り籠に入れ、帰りにはのどが渇き、加工場のつるべ式井戸でのどを潤し帰ったものでした。また、大漁のときなど、「ほしか」と呼ばれ、たくさんの小魚が広い砂浜の上に干され、畑の肥料として重宝されていました。そんな楽しかった地引網の光景が思い起こされます。また、冬には、広い砂浜に木切れで囲った5メートル程の囲いができ、その中には、置き火があり漁師が冷えた身体を暖めるようになっており、その中で暖を取った思い出があります。

最近、夕涼みで庭に出ると遠くに聞こえる潮騒の音を聞きながら“ふっと”あの頃の広い砂浜、多くの魚たちの光景が思い起こされ、あの海はどこへ行ったのだろうと思います。

イワシが入った地引網の袋に集まる網の衆（昭和30年代）

平成24年度事業計画

■主要事業

第15回表浜自然ふれあいフェスティバル

日時 ● 平成24年12月1日㈯　午前9時～午後12時30分
※悪天候の場合は平成25年1月19日㈯に延期

場所 ● 久美原～大草の表浜一帯
※親睦会場は百々海岸

内容 ● 海岸清掃、地引網（予定）、ビーチフラッグス、特産鍋の無料提供ほか

目的 ● 表浜海岸の魅力、海岸侵食などの現状を広くPRすることで海岸整備の促進を図る

■主な推進事業

農村総合整備事業：田原市産業振興部農政課
［大草·高松地区、田原東部地区］

農地·水·環境保全向上対策：田原市産業振興部農政課
［六連·神戸·大草·田原東部各校区］

海岸治山事業：愛知県東三河農林水産事務所

海岸保全対策：愛知県東三河建設事務所

森林公園整備［谷ノ口地区］：田原市都市建設部街づくり推進課

第14回 表浜自然ふれあいフェスティバル

昨年開催

H23 11.12 開催

表浜自然 ふれあいフェスティバル

海岸侵食が進む表浜の現状と自然の魅力をPRすることを目的に、毎年開催しているこのフェスティバルも14回目を迎えました。青空の下、約2,000人の参加者が、久美原海岸～大草海岸までの海岸清掃を実施しました。清掃活動後、メイン会場となった大草海岸では、地引網やビーチフラッグスなどを楽しんだほか、各校区の女性が作った無料の特産鍋などを味わいながら、交流を深めました。

★表浜情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見·ご要望·ご感想をお寄せください。

【発行】田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会（事務局：田原市役所政策推進課）　〒441-3492　愛知県田原市田原町南番場30-1　TEL0531-23-3507

この冊子は再生紙を使用しています。

第14号
2012.11.1

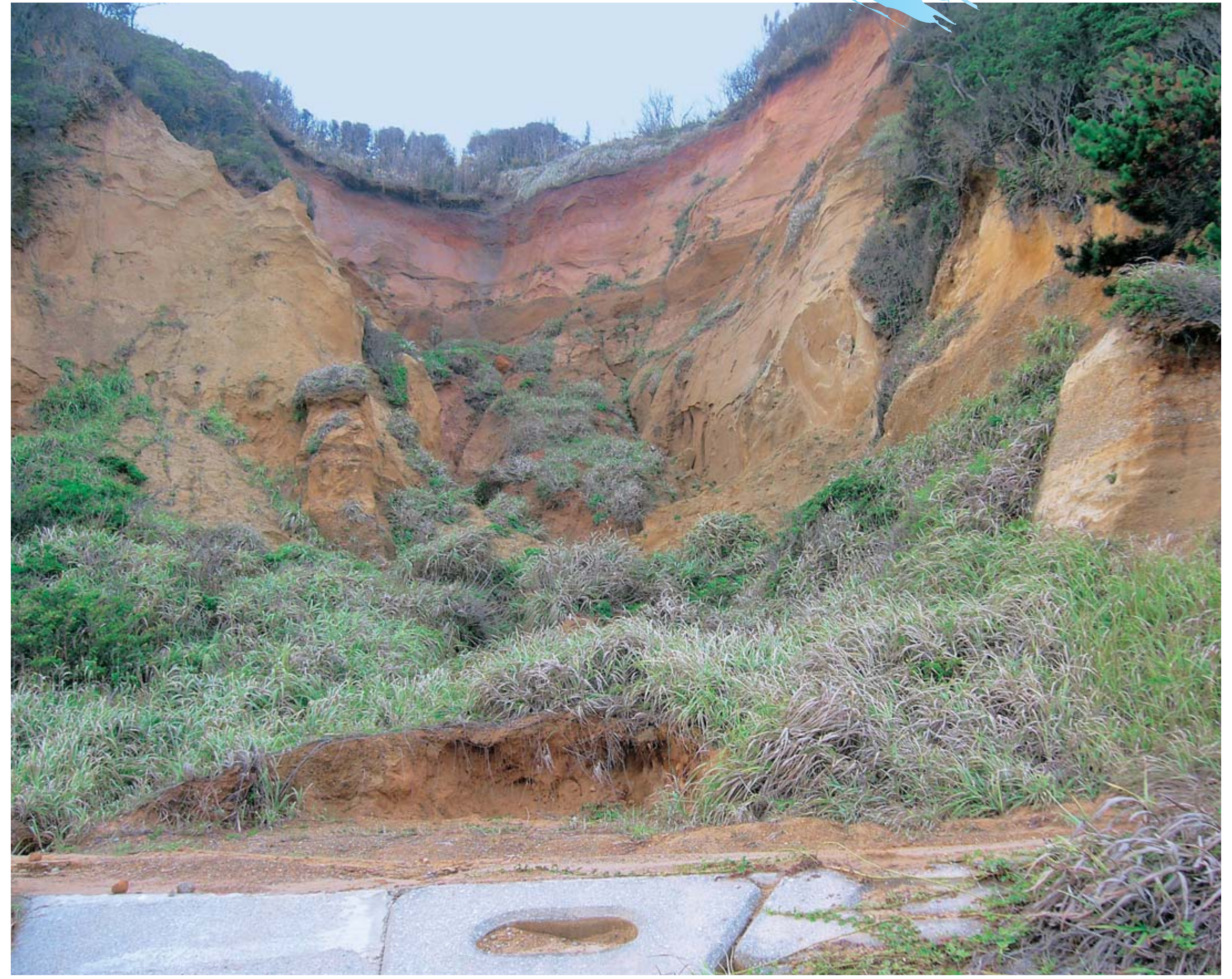
田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会
表浜地域づくり情報誌

潮騒

しおさい

国の中央防災会議において「南海トラフの巨大地震による震度分布及び津波高」が発表され、田原市太平洋岸においては、最大津波高が10メートルから20メートルと想定されております。

東部太平洋岸地域においては、方辺によって津波からの被害は最小限に抑えられるものと思われますが、こうした災害から住民の生命を守るためにも、今後より一層の地域の連携と方辺のあり方が重要となってまいります。



CONTENTS

◆協議会の活動報告
◆表浜むかし話「出水はどこだ」
◆第15回を迎える表浜自然ふれあいフェスティバル
◆特集「工事年報」東部太平洋岸地域の海岸保全·治山事業、豊川用水二期事業（本線）を紹介します。
◆表浜風土器　◆平成24年度事業計画

「みんなで考え·行動する地域づくり」
田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

■会長あいさつ

本協議会も発足以来16年を経過し、神戸·大草·六連·田原東部の4校区が一丸となり、少しずつではありますが、自立した地域活動を歩み進めてまいりました。

平成17年に策定しました谷ノ口地区整備基本計画につきましては、市と協働で、集落環境整備が進められていると同時に、森林レクリエーション公園（仮称）を改め「表浜ほうべの森」の整備も着手しております。協議会として、また、東部太平洋岸地域全体としても、その実現が大いに期待されているところであります。

今後も、4校区のつながりをより深くするとともに、渥美半島が一つになり、同じ海岸環境を持つ地域との連携も視野に入れながら、行政と一体となって取り組んでまいりたいと思っています。

最後に、太平洋岸の快適で住みよい生活環境整備が実現されるよう活動していきたいと願っております。

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会
会長　志手一光

◆協議会活動の経過◆

H8.1	協議会発足
H8.3	沿岸部に関する地元要望作成
H9.3	基本構想「サングリーン21」策定
《方向性》	·自然環境の保全と活用
	·農業基盤、農村環境の整備
	·観光·レクリエーション施設の整備
	·幹線道路の整備
《展　開》	·太平洋岸の魅力を発信するイベントの開催
	·海浜·崖森·農地エリアのエリア別の整備促進
	·渥美半島全体の連絡調整
	·関係機関への要望運動等の展開
H9.11	専門部会設置
H10.3	海浜·崖森エリアの基本計画策定
H10.10	農地エリア整備の地元検討書作成
H10.11	第1回表浜自然ふれあいフェスティバル開催（以後毎年開催）
H13.12	海浜拠点整備地区の選定（谷ノ口地区）
H15.3	ええZONEガーデン整備計画策定（谷ノ口総合整備促進協議会）
H16.7	国土交通省事業ー地域振興アドバイザーを受け入れ（　〃　）
H17.3	谷ノ口地区整備基本計画策定（　〃　）

■協議会組織（平成24年10月現在·順不同）

役員	会長	志手一光（田原東部校区会長）
	副会長	井上常雄（六連校区会長）、彦坂雄三（神戸校区会長）、彦坂善弘（大草校区会長）
委員	市議会議員	赤尾昌昭、彦坂久伸、仲谷政弘、牧野京史、大竹正章
	漁業関係者	冨田實（愛知外海漁業協同組合理事）、松井一光（愛知外海漁業協同組合理事）
	市農業委員	細井儀宣、大谷行利、渡辺守成、太田小八
	市役所	林　勇夫(副市長)、伊藤康弘(産業振興部長)、鈴木春男(都市建設部長)、前田和宏（教育部長）
顧問		鈴木克幸（田原市長）、山本浩史（愛知県議会議員）、中神享三（愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長）
事務局		田原市役所政策推進部（政策推進課）

●表浜自然ふれあいガーデン　実現に向けての動き

ハード事業

◆海岸整備（県事業）
◇海岸保全事業（傾斜護岸）：百々海岸（H19）、離岸堤調査·工事（豊橋田原海岸）　◇海岸治山事業：8箇所要望中

◆拠点地区の整備促進（市事業）
◇公衆便所整備事業：谷ノ口海岸（H9）·大草海岸（H10）·百々海岸（H11）·東ヶ谷海岸（H13）
◇海岸駐車場事業：大草海岸（H11）·百々海岸（H12）
◇道路整備事業：南谷ノ口1号線改良（H15）·寺前上り口線拡張（H16～H18）·高畑谷ノ口線改良（H17）·谷ノ口海岸線拡張（H17～）·R42公民館前交差点改良（H18～）
◇公園整備事業：表浜ほうべの森整備（H18～）

ソフト事業

◆表浜自然ふれあいフェスティバル（協議会事業）
◇メイン海岸：H10谷ノ口·H11大草·H12百々·H13東ヶ谷·H14大草·H15百々·H16分散開催·H17大草·H18百々·H19東ヶ谷·H20大草·H21百々·H22東ケ谷·H23大草

◆表浜のレクリエーション
◇健康ウォーキング大会（市教育委員会）：H10東ヶ谷海岸·H11大草海岸·H14谷ノ口海岸·H15百々海岸·H17百々海岸
◇ふれあいウォーキング大会（六蓮青少年健全育成）：H13六連海岸

多額の予算を必要とする海岸保全事業の継続的な実施には、国土保全·防災面に加え、表浜海岸の持つ多面的価値の創造を行い、投資効果の向上を図る必要があります。

●農地エリアの整備　実現に向けての動き

ハード事業

◆農村·農地の整備（市事業）
◇農村総合整備:神戸地区（H12～H16）·大草、高松地区（H18～）·田原東部地区（H19～）
◇農用地基盤整備事業:谷熊新田排水対策（H20～）　◇農地·水·環境保全向上対策（H19～）

ソフト事業

◆農地基盤に関する実態調査（市事業）
◇農地基盤再整備に関する調査：H11表浜全域

道路·排水·農地区画·ため池などの農業基盤に加え、集落環境を含め総合的な整備促進を図ります。

第15回を迎える
表浜自然ふれあいフェスティバル

渥美半島は、愛知県の南東部に位置し、三方を海に囲まれ、その形状は愛知を守る自然の防波堤のようでもあります。海岸にある保安林は背後にある農地を潮害から守り、ある時は、台風の強風を軽減させてきました。

私たちの暮らしは、渥美半島の自然と人々の生活の営みとともにありますが、海岸侵食や崖崩落など厳しい諸問題も存在する中で、表浜の現状と素晴らしい海岸資源を広く知らしめるとともに、地域住民と参加者の交流を図ることを目的に第1回の「表浜自然ふれあいフェスティバル」が平成10年11月に谷ノ口海岸で開催されました。当時の会長である小川孝治さんに話を聞いてみました。

ごあいさつ

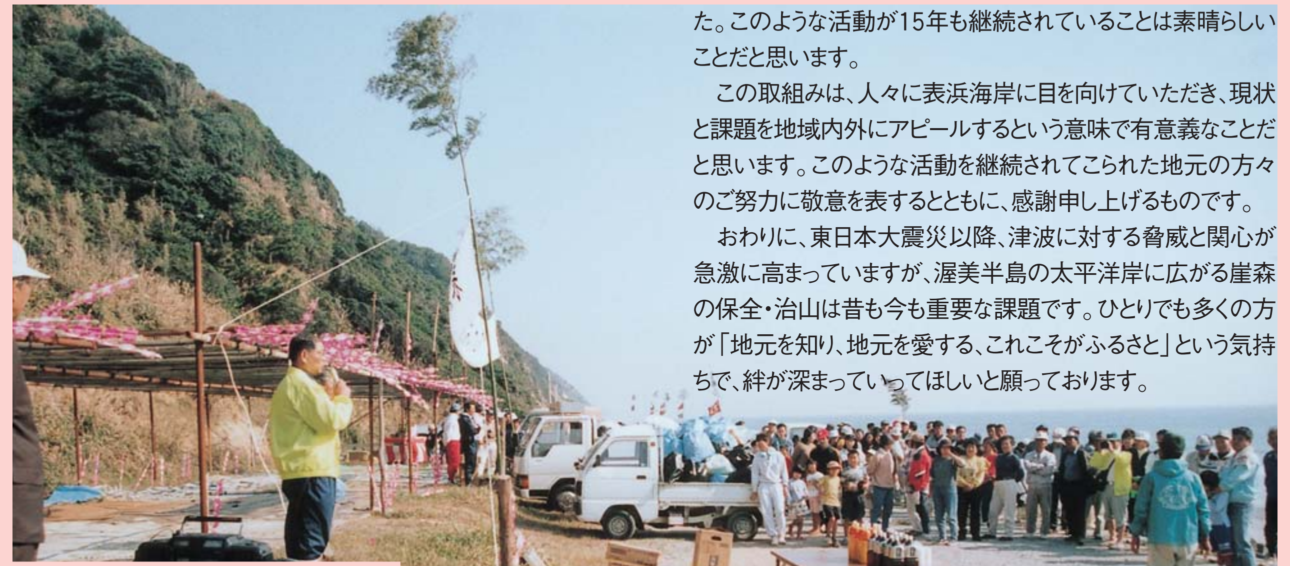
田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会
初代会長 **小川 孝治**

私が子供のころの表浜海岸は、白い砂浜が広がり牛で網を引いて漁猟する人々の姿、イワシを浜に干している風景が日常の中にありましたが、今は生業としての地引網は消滅してしまいました。そうした時代の流れとともに、平成8年1月に表浜地域の総合的な整備促進を図るため、神戸・大草・田原東部・六連の4校区が主体となった田原町太平洋岸総合整備促進協議会が発足して以来、様々な活動が展開されてきました。

その中でも表浜自然ふれあいフェスティバルは、小・中学生や地元だけでなく多くの皆さんが、海岸の清掃活動にボランティアとして参加していただいております。地引網をやって、採れたての魚を調理した潮騒鍋は魚の出汁と潮の香りが相まって美味しくいただきました。その他にも地元産のさつま芋を使った焼き芋やバーベキューなど自治会や婦人会など多くの皆さんの協力で実現され、参加者は寒い体と心を温めてくれました。このような活動が15年も継続されていることは素晴らしいことだと思います。

この取組みは、人々に表浜海岸に目を向けていただき、現状と課題を地域内外にアピールするという意味で有意義なことだと思います。このような活動を継続されてこられた地元の方々のご努力に敬意を表するとともに、感謝申し上げるものです。

おわりに、東日本大震災以降、津波に対する脅威と関心が急激に高まっていますが、渥美半島の太平洋岸に広がる崖森の保全・治山は昔も今も重要な課題です。ひとりでも多くの方が「地元を知り、地元を愛する、これこそがふるさと」という気持ちで、絆が深まっていってほしいと願っております。



ごみ拾いをする地域住民

地引網を仕掛けに海に出る男達

潮騒鍋等の準備をする女性スタッフ

※第1回表浜自然ふれあいフェスティバル写真

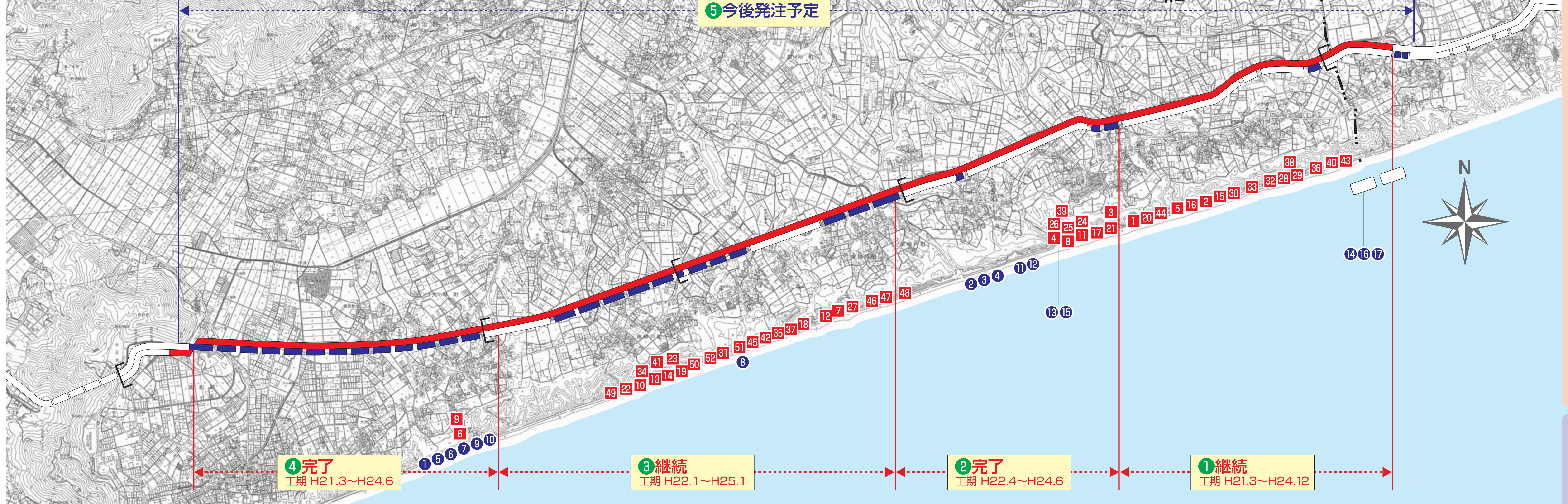
特集 東部太平洋岸地域の工事年報
（海岸保全・治山事業、豊川用水二期事業（本線））

当協議会が発足（平成8年1月）して以来、東部太平洋岸の自然環境の保全と、海岸への来訪者の安全確保ならびに当該地域の振興・発展にかかる事業の整備促進にご尽力いただいている愛知県をはじめ独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部の工事について紹介いたします。

離岸堤

海岸から離れた沖合に、海岸線とほぼ平行に設けられる構造物。波の力を弱め、漂砂の量を抑えることにより、砂浜を維持し、回復させる効果があります。

異形ブロック製作（池尻地内①）



治山（土留工・吹付工等）（南町海岸）

台風や地震などによって崩壊した斜面を元の森や傾斜地に戻します。

土留工工事施工中（南町海岸）

豊川用水二期工事

豊川用水は、完成から30年以上が経過した水路もあり、コンクリートのひび割れや古くなった水路から水漏れが起きています。このため、新しく水路（併設水路）を造って古くなった水路を地震などの災害に強い元気な水路に改築し、水を送ります。

独立行政法人水資源機構　豊川用水総合事業部

図面番号	事業年度	工種	施工場所	工事概要	金額(円)
❶	H19～H28.3	水路工事	豊橋市城下町地内外	管水路工事 φ1,650mm　L=3,176m	**2,448,600,000**
❷	H19～H28.3	水路工事	田原市東神戸町地内外	管水路工事 φ1,650mm　L=2,232m φ1,350mm　L=285m	**1,265,775,000**
❸	H19～H28.3	水路工事	田原市東神戸町地内外	管水路工事 φ1,350mm　L=4,349m	**1,578,412,500**
❹	H19～H28.3	水路工事	田原市高松町地内外	管水路工事 φ1,250mm　L=3,275m φ1,200mm　L=293m	**2,064,247,500**
❺	H19～H28.3	水路工事	豊橋市城下町～田原市高松町地内	既設サイホン等改築(パイプインパイプ等) φ2,750～φ2,400mm L=5,800m	

愛知県農林水産事務所

■大草校区

図面番号	事業年度	工期	工種	工事概要	金額(円)
6	9年度	H9.4～H9.8	土留工 水路工	L=13.0m L=70.0m	**5,355,000**
9	10年度	H10.6～H10.9	土留工 水路工	L=12.0m L=52.0m他	**5,460,000**

■神戸校区

図面番号	事業年度	工期	工種	工事概要	金額(円)
7	10年度	H10.7～H11.1	土留工 吹付工	L=93.0m 1,370.0m2他	**41,685,000**
10	11年度	H11.5～H11.12	土留工 伏　工	L=69.0m 750.0m2他	**37,800,000**
12	11年度	H11.9～H12.3	土留工 吹付工	L=57.0m 1,000.0m2他	**29,400,000**
13	12年度	H12.3～H12.9	土留工 伏　工	L=81.0m 1,355.0m2他	**48,300,000**
14	12年度	H12.5～H12.11	土留工 吹付工	L=42.0m 990.0m2他	**26,985,000**
18	12年度	H12.6～H12.12	土留工 吹付工	L=90.0m（2基） 950.0m2他	**51,975,000**
19	13年度	H13.3～H13.9	土留工 吹付工	L=63.0m 1,350.0m2他	**45,150,000**
22	13年度	H13.9～H14.1	土留工	L=21.0m	**5,780,250**
23	13年度	H13.7～H13.10	法切工 吹付工	160.4m3 180.0m2他	**2,674,350**
27	14年度	H14.8～H14.12	防潮工	L=50.00m W=361.1t	**29,715,000**
31	16年度	H16.12～H17.3	土留工 吹付工	L=27.0m（2基） 210.0m2他	**7,948,500**
34	16年度	H16.9～H16.12	吹付工	0.14ha	**13,125,000**
35	16年度	H16.12～H17.3	土留工	L=30.0m	**3,990,000**
37	17年度	H17.11～H18.3	土留工	L=71.0m他	**20,218,800**
41	18年度	H18.12～H19.3	吹付工	763.6m2他	**6,478,500**
42	18年度	H19.1～H19.3	土留工	L=20.0m他	**10,589,250**
45	19年度	H19.12～H20.3	土留工	L=20.0m他	**8,158,500**
46	20年度	H20.10～H21.3	土留工	L=219.0m他	**41,119,050**
47	21年度	H21.9～H22.3	土留工	L=197.0m他	**43,455,300**
48	22年度	H22.8～H22.11	土留工	L=23.2m他	**4,732,350**
49	22年度	H22.8～H23.1	土留工	L=240.0m他	**41,318,550**
50	22年度	H22.12～H23.3	土留工	L=59.5m他	**11,263,350**
51	23年度	H23.2～H23.6	土留工	L=113.5m他	**20,076,000**
52	23年度	H23.8～H24.1	土留工	L=203.5m（3基）他	**32,879,700**
＊	24年度（実施中）	H24.7～H24.11(予定)	土留工	L=106.0m（2基）	**23,100,000** （当初契約額）

■六連校区

図面番号	事業年度	工期	工種	工事概要	金額(円)
1	8年度	H8.4～H8.10	土留工	L=110.0m他	**26,780,000**
2	8年度	H8.7～H8.11	防潮工 補　修	L=60.0m V=112.1m3	**8,137,000**
3	9年度	H9.5～H9.11	土留工	L=110.0m他	**27,090,000**
4	9年度	H9.6～H10.2	防潮工	L=50.0m H=6.4m V=566.2m3	**46,410,000**
5	9年度	H9.6～H9.12	土留工	L=20.0m	**13,545,000**
8	10年度	H10.8～H11.1	防潮工	L=55.0m H=6.4m V=581.9m3	**44,625,000**
11	11年度	H11.6～H12.1	防潮工	L=70.0m H=6.4m V=790.1m3	**56,700,000**
15	12年度	H12.6～H13.1	土留工 吹付工	L=80.0m 1,670.0m2他	**62,636,700**
16	12年度	H12.10～H13.3	土留工 吹付工	L=67.5m 130.0m2他	**25,200,000**
17	12年度	H12.7～H13.1	防潮工	L=94.75m W=852.3t	**36,750,000**
20	13年度	H13.6～H13.12	土留工 吹付工	L=91.5m（2基） 430.0m2他	**38,640,000**
21	13年度	H13.6～H13.12	防潮工	L=68.75m W=603.4t	**27,300,000**
24	14年度	H14.4～H14.10	土留工 吹付工	L=118.5m 350.0m2他	**36,750,000**
25	14年度	H14.6～H14.10	土留工 吹付工	L=26.5m 150.0m2他	**11,025,000**
26	14年度	H14.7～H14.11	土留工 吹付工	L=38.0m 180.0m2他	**14,339,850**
28	14年度	H14.12～H15.3	土留工 吹付工	L=35.0m 230.0m2他	**13,125,000**
29	15年度	H15.8～H15.12	土留工 吹付工	L=65.0m（2基） 690.0m2他	**25,906,650**
30	15年度	H15.7～H15.12	土留工 吹付工	L=170.0m（2基） 396.0m2他	**42,954,450**
32	16年度	H16.7～H17.2	土留工 吹付工	L=195.0m（2基） 787.0m2他	**40,373,550**
33	16年度	H16.7～H17.1	土留工	L=189.5m（2基）他	**48,242,250**
36	17年度	H17.7～H17.12	土留工 吹付工	L=101.0m 583.5m2他	**25,039,350**
38	17年度	H17.6～H17.9	柵　工 伏　工	L=33.0m 328.0m2他	**2,955,750**
39	17年度	H17.11～H18.3	柵　工	L=51.0m他	**10,106,250**
40	18年度	H18.6～H18.12	土留工	L=169.0m（2基）他	**43,138,200**
43	19年度	H19.8～H20.1	土留工	L=111.0m他	**26,959,800**
44	19年度	H19.7～H19.10	土留工	L=60.0m他	**12,790,050**

愛知県東三河建設事務所

■大草校区

図面番号	事業年度	工期	工種	工事概要	金額(円)
❶	7年度	H7.9～H8.3	傾斜護岸	L=122.8m	**27,810,000**
❺	13年度	H13.11～H14.3	傾斜護岸	L=157.9m	**32,025,000**
❻	13年度	H13.12～H14.3	異形ブロック製作	416個	**15,747,900**
❼	14年度	H15.1～H15.3	傾斜護岸 異形ブロック製作	L=106.8m 114個	**15,409,800**
❾	15年度	H15.10～H16.3	傾斜護岸	L=120.4m	**26,654,250**
❿	16年度	H16.12～H17.3	傾斜護岸	L=54.2m	**12,285,000**

■神戸校区

図面番号	事業年度	工期	工種	工事概要	金額(円)
❷	8年度	H8.12～H9.3	傾斜護岸	L=127.9m	**31,910,430**
❸	9年度	H9.9～H10.3	傾斜護岸	L=115.9m	**30,912,000**
❹	12年度	H12.9～H13.3	傾斜護岸	L=169.7m	**41,850,900**
❽	15年度	H15.5～H15.8	傾斜護岸修繕	L=7.13m	**1,151,850**

■六連校区

図面番号	事業年度	工期	工種	工事概要	金額(円)
⓫	16年度	H17.2～H17.3	ブロック製作	445個	**15,435,000**
⓬	17年度	H18.2～H18.3	傾斜護岸	L=68.5m	**6,746,250**
⓭	20年度	H21.1～H21.3	傾斜護岸等	L=37.87m 船揚場	**9,057,300**
⓮	21年度	H22.3～H22.8	異形ブロック製作	76個	**35,000,700**
⓯	21年度	H21.7～H21.10	船揚場	船揚場　1式	**2,436,000**
⓰	22年度	H23.2～H23.3	異形ブロック製作	18個	**9,272,550**
⓱	23年度	H23.11～H24.6	築堤マット製作 異形ブロック製作 灯標製作	184枚 72個 2本	**57,820,350**